

# 第18回 土木鋼構造研究シンポジウム

## －基礎構造の信頼性向上に向けた取り組み－

鉄鋼業界では、平成7年度より「鋼構造研究・教育助成制度」を設け、鋼構造に携わっておられる研究者を対象に研究助成事業を実施しており、毎年、研究成果の報告ならびに関連テーマに関しまして「土木鋼構造研究シンポジウム」を開催しております。

第18回を迎える今回は、「基礎構造の信頼性向上に向けた取り組み」と題し、近年における社会インフラの信頼性向上ニーズに対応し、関連技術の直近の研究成果と今後の展望について講演を予定しております。

ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成26年3月18日(火) 13:00～18:10

会 場：コクヨホール 2階(定員300名)  
住所：東京都港区港南1-8-35

主 催：一般社団法人日本鉄鋼連盟

後 援：一般社団法人日本鋼構造協会、一般社団法人鋼管杭・鋼矢板技術協会、公益社団法人土木学会  
公益社団法人地盤工学会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人日本橋梁建設協会



時間・演題・講師(都合により時間・演題・講師が変更になる場合があります)

総合司会：日本鉄鋼連盟 土木委員会 委員長 望月 武

|             |  |
|-------------|--|
| 13:00～13:10 | 日本鉄鋼連盟 建設企画委員会 委員長 挨拶<br>新日鐵住金(株) 執行役員 中村 真一                             |
| 13:10～13:20 | 座長挨拶<br>東京大学大学院 特任教授 藤野 陽三   |
| 13:20～13:50 | －基調講演－「土木構造物設計基準のこれから：性能設計と信頼性設計法」<br>岐阜大学 教授 本城 勇介                      |
| 13:50～14:20 | 「港湾構造物における性能設計」<br>国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室長 宮田 正史                |
| 14:20～14:50 | 「道路橋基礎における部分係数設計法の検討」<br>(独)土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ 上席研究員 七澤 利明 |
| 14:50～15:05 | 休 憩  |
| 15:05～15:35 | 「基礎構造の信頼性解析」<br>岐阜大学 特任助教 大竹 雄   |
| 15:35～16:05 | 「高支持力杭の性能保証のための施工管理」<br>パイルフォーラム(株) 取締役副社長(日本工業大学 名誉教授) 桑原 文夫            |
| 16:05～16:45 | 「杭・矢板の圧入施工の効率化のための計測・可視化技術」<br>東京大学 准教授 長井 宏平、同 准教授 内村 太郎                |
| 16:45～17:00 | 休 憩  |
| 17:00～18:00 | －特別講演－「地球温暖化問題とサステナビリティ」<br>(独)国立環境研究所 理事長(東京大学 名誉教授) 住 明正               |
| 18:00～18:10 | 総評・副座長挨拶<br>(独)港湾空港技術研究所 理事長 高橋 重雄                                       |

受講料：無料

申込方法：下記ホームページの申込フォームからお申込みください

[www.jisf.or.jp/info/event/dobokushinpo18.html](http://www.jisf.or.jp/info/event/dobokushinpo18.html)

参加申込受付時に返信される確認メールを印刷の上、当日会場にお持ちください

問合せ先：一般社団法人日本鉄鋼連盟 経営政策本部 市場開発グループ

TEL：(03)3669-4815 FAX：(03)3667-0245 E-mail：dobokushinpo@jisf.or.jp

申込締切：平成26年3月3日(月)必着(定員になり次第、締め切らせていただきます)